



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社 丸順 上場取引所 名
 コード番号 3422 URL <https://www.marujun.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画管理本部長 (氏名) 棚橋 哲郎 (TEL) 0584-48-2832
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	35,037	△2.0	3,196	△3.2	2,786	0.0	1,780	0.4
2019年3月期第3四半期	35,761	△1.0	3,300	17.6	2,785	47.1	1,773	72.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,243百万円(△18.3%) 2019年3月期第3四半期 1,522百万円(1.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	150.13	—
2019年3月期第3四半期	154.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	46,177	13,610	23.8
2019年3月期	48,605	13,261	20.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 11,004百万円 2019年3月期 9,757百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2020年3月期	—	4.00	—		
2020年3月期(予想)				4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	△6.3	3,600	△17.6	3,000	△17.1	2,000	△13.1	168.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	11,857,200株	2019年3月期	11,857,200株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	289株	2019年3月期	235株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	11,856,955株	2019年3月期3Q	11,469,763株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(減損損失)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費の増加や雇用環境の改善等により景気回復が続いております。欧州では、個人消費等の内需に下支えられ、景気は緩やかな回復を維持しているものの、英国のEU離脱の影響等のリスクについては、今後留意が必要であります。中国では、景気減速に対し各種政策を実施するものの、米中貿易摩擦の影響により輸出の減少がみられ、景気は緩やかに減速しております。日本では、米国向けを中心に輸出の低迷が続いているものの、設備投資等の増加により景気は緩やかな回復を継続しております。

当社グループが属する自動車業界においては、タイでは、米中貿易摩擦による世界的な景気減速により輸出が低迷しているほか、国内においても洪水の影響及び金融機関による自動車ローン厳格化等により国内新車販売台数が減少傾向となっております。中国では、SUV（スポーツ用多目的車）が根強い人気を維持しているものの、長期化している米中貿易摩擦の影響及び新エネルギー車購入の補助金基準改訂により新車販売台数が減少しております。日本では、新型モデルの投入により新車販売台数は順調に推移しているものの、消費増税等のマイナスリスクの影響が徐々に顕在化し始めております。

このような状況のもと、当社グループは、中長期5か年計画の2年目として、競争力基盤の確立及び財務体質の向上に努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、35,037百万円（前年同四半期比2.0%減）、営業利益は3,196百万円（前年同四半期比3.2%減）、経常利益は2,786百万円（前年同四半期比0.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,780百万円（前年同四半期比0.4%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(丸順)

丸順においては、部品事業で主要客先向け自動車部品の生産が増加したことに加え、エンジニアリング事業においても専用設備の販売が増加したことにより、売上高は増加いたしました。また、主要客先の増産に伴い労務費が増加したものの、経費等の原価低減の取組みにより、利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は12,472百万円（前年同四半期比17.9%増）、経常利益は1,697百万円（前年同四半期比11.8%増）となりました。

(タイ)

タイにおいては、部品事業において主要客先向け自動車部品の生産が減少したことにより、売上高は減少いたしました。また、外注加工の社内取り込み等の原価低減の取組みを実施したことに加え、償却負担が減少したものの、前年は一時的な利益押し上げ要因として量産車種終了に伴う金型投資費用の回収が計上されていたこと等により、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は6,161百万円（前年同四半期比10.6%減）、経常利益は74百万円（前年同四半期比60.3%減）となりました。

(広州)

広州においては、部品事業で自動車部品の生産が減少したことに加え、エンジニアリング事業においても専用設備の販売が減少したことにより売上高は減少いたしました。また、継続的な要員適正化及び経費削減等の取組みを実施しているものの、売上高減少に伴い固定費負担が相対的に増加したことにより、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は11,574百万円（前年同四半期比14.0%減）、経常利益は731百万円（前年同四半期比23.4%減）となりました。

(武漢)

武漢においては、売上高は現地通貨ベースでは増加したものの、円高による為替影響により邦貨ベースでは売上高は減少いたしました。なお、スマート倉庫導入による物流改善等により労務費及び経費等の原価が低減したことに加え、生産機種構成の変化により購入費が減少したこと等により利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は7,530百万円（前年同四半期比2.8%減）、経常利益は938百万円（前年同四半期比81.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、46,177百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2,427百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が468百万円減少、受取手形及び売掛金が2,166百万円減少、仕掛品が1,062百万円増加、有形固定資産が716百万円減少したこと等が要因であります。

負債総額は32,567百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2,777百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,250百万円減少、短期借入金が483百万円減少、長期借入金が1,003百万円減少したこと等が要因であります。

純資産は13,610百万円となり、前連結会計年度末と比較し、349百万円の増加となりました。これは主に、資本剰余金が173百万円増加、利益剰余金が1,697百万円増加、為替換算調整勘定が637百万円減少、非支配株主持分が896百万円減少したこと等が要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月26日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,578	9,110
受取手形及び売掛金	11,808	9,641
有価証券	200	200
商品及び製品	363	348
仕掛品	2,467	3,529
原材料及び貯蔵品	777	742
その他	802	948
貸倒引当金	△60	△56
流動資産合計	25,937	24,465
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,666	4,917
機械装置及び運搬具（純額）	5,277	6,599
工具、器具及び備品（純額）	5,796	5,066
土地	611	629
リース資産（純額）	690	540
建設仮勘定	3,959	2,532
有形固定資産合計	21,002	20,285
無形固定資産	206	213
投資その他の資産		
その他	1,465	1,221
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,458	1,213
固定資産合計	22,667	21,712
資産合計	48,605	46,177

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,292	5,042
短期借入金	13,213	12,729
リース債務	281	186
未払法人税等	201	269
賞与引当金	131	337
その他	3,965	3,734
流動負債合計	24,084	22,300
固定負債		
長期借入金	9,866	8,863
リース債務	168	34
退職給付に係る負債	1,072	1,136
資産除去債務	152	232
その他	0	0
固定負債合計	11,259	10,266
負債合計	35,344	32,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950	1,950
資本剰余金	1,794	1,967
利益剰余金	4,586	6,283
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,331	10,201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59	56
為替換算調整勘定	1,416	778
退職給付に係る調整累計額	△48	△31
その他の包括利益累計額合計	1,426	802
非支配株主持分	3,503	2,606
純資産合計	13,261	13,610
負債純資産合計	48,605	46,177

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	35,761	35,037
売上原価	30,102	29,523
売上総利益	5,659	5,514
販売費及び一般管理費	2,358	2,318
営業利益	3,300	3,196
営業外収益		
受取利息	37	48
受取配当金	4	5
債務勘定整理益	—	22
その他	9	21
営業外収益合計	52	97
営業外費用		
支払利息	416	376
株式交付費	17	—
為替差損	120	46
その他	13	84
営業外費用合計	568	507
経常利益	2,785	2,786
特別利益		
固定資産売却益	8	0
その他	1	—
特別利益合計	10	0
特別損失		
減損損失	68	—
投資有価証券評価損	—	0
特別損失合計	68	0
税金等調整前四半期純利益	2,726	2,787
法人税等	606	732
四半期純利益	2,119	2,055
非支配株主に帰属する四半期純利益	346	275
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,773	1,780

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,119	2,055
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	△3
為替換算調整勘定	△584	△824
退職給付に係る調整額	4	17
その他の包括利益合計	△597	△811
四半期包括利益	1,522	1,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,345	1,155
非支配株主に係る四半期包括利益	176	88

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

当社は、2018年5月25日開催の取締役会決議に基づき、2018年6月11日付で、公募増資による新株式1,200,000株の発行及び東プレ株式会社を割当先とする第三者割当増資による新株式300,000株の発行を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が752百万円、資本準備金が752百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,950百万円、資本剰余金が1,794百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第3四半期連結累計期間
(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	丸順	タイ	広州	武漢	
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	9,843	6,695	12,194	7,028	35,761
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	731	196	1,269	715	2,913
計	10,575	6,891	13,464	7,744	38,675
セグメント利益	1,518	188	953	518	3,179

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,179
セグメント間取引消去	18
子会社配当金	△482
その他の調整額	70
四半期連結損益計算書の経常利益	2,785

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「タイ」セグメントにおいて、撤退に伴い売却が見込まれる建物及び土地等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において68百万円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の連結子会社でありました株式会社ホンダ四輪販売丸順は、2018年3月30日付で全株式を譲渡し2018年3月31日をみなし売却日として連結の範囲から除外しているため、第1四半期連結会計期間より、従来「四輪販売」として記載していた報告セグメントについては、報告セグメントから除外しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	丸順	タイ	広州	武漢	
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	11,801	6,025	10,321	6,888	35,037
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	670	135	1,253	642	2,701
計	12,472	6,161	11,574	7,530	37,738
セグメント利益	1,697	74	731	938	3,442

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,442
セグメント間取引消去	△103
子会社配当金	△563
その他の調整額	11
四半期連結損益計算書の経常利益	2,786

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(減損損失)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	金額 (百万円)
タイ王国アユタヤ県ナコーンルアング郡	売却予定資産	建物及び土地等	68

当社グループは、セグメント別を基本とし、内部管理上採用している区分を基礎として資産のグルーピングを行い、売却予定資産については予定される取引ごとにグルーピングを行っております。

正味売却価額が帳簿価額を下回った売却予定資産については、帳簿価額のうち回収可能価額を超過した額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当資産グループの回収可能価額は、主に正味売却価額により測定しており、正味売却価額は売却見込額により評価しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

該当事項はありません。